

自然エネルギーを考える会:2016年度の一年とこれからの一年(案) (会員用)

(一)経過とこの一年間の活動

あたらしい年を迎えました。「自然エネルギーを考える会」は府中市の社会教育関係登録団体なので、3月には毎年、更新手続きを行っています。更新手続きのための報告書(簡単な会計報告を含む)作成の関係で、毎年2月28日を年度末としています。新年早々ですが、昨年一年の活動を振り返って、これからのことを確認しておきたいと思います。ご意見をお願いします。

① この会は、2012-2013年に行われた「府中市に”自然エネルギー社会をめざす都市宣言”を求める署名運動」のなかで誕生した学習・研究・運動団体です。昨年は本格的な見学会も行いました。2013年6月に会員が提出した「公共施設・用地での屋根貸し推進」の陳情が可決され、その後も学校への太陽光パネルの導入の推進等で提案をしてきました。昨年は市長とのスマートエネルギー都市を巡る懇談、議会の議事録作成の陳情、年末の地球温暖化対策推進計画の見直しにあたっての環境政策課との懇談を行うなど動きが活発でした。また4月に小売電力の自由化を巡っては、かなり細かく情報を提供してきました。年末にトランプ次期大統領が出現し、世界的には自然エネルギーに向かうあゆみは動かしがたいものになっているとはいいながら、大きな逆流も予想され、世界の動きに目を向けながら考え、行動してゆく必要がありそうです。

② 昨年の勉強の主な内容は 下記のとおりです。

- 1月 東京都下水道局のスマートプラン2014
- 2月 高野市長のスマートエネルギー都市 電力自由化一か月前
- 3月 展示会スマートエネルギーweek2016の報告 府中市議会における質疑から 高野市長との懇談結果
- 4月 小売自由化を迎えて 自然エネルギーに向かう自治体の動き
- 5月 実測による電力の使用状況の確認と電力会社の推奨例 地域の電力史
- 6月 「日本と原発 4年後」を鑑賞しましょう 大きく動くFIT 制度の概要
- 7月 自然エネルギーの技術進歩 電気を貯める 参院選:各党の自然エネルギー政策
- 9月 孫正義氏のアジア・スーパー・グリッド構想 太陽光パネルの設置と環境保護
- 10月 北杜市の自然エネルギー見学 (1)北杜サイト (2)小水力 小水力の普及上の課題
- 11月 小水力資源を汲み尽す試み 再エネコストの指標 グリッド・パリティ
- 12月 トランプ氏の出現と地球温暖化対策の行方 原発コストの託送料金への上乗せの動き

③ (1) 今年の一月に府中市の市長選挙があり、「会」は二人の候補者に6項目の質問書を出して、お二人とも返事をいただきました。1月21~23日にフェイスブック上で各項目にわたり2人の返答内容を公開し、延べ600人が閲覧しました。再選された高野市長が「スマートエネルギー都市への取組拡大」という新公約を掲げたことが特徴でした。

(2)3月17日に高野再選市長に申し入れて懇談会を行いました。(1)スマートエネルギー都市(自然エネルギー都市)を目指す基本姿勢、(2)遅れている地球温暖化対策推進計画にもとづく世帯への太陽光パネルの普及、を中心に意見交換をしました。会からは、「市長は市民協働については、行政が宣言を発するなどイニシアチブを発揮した。この問題でも、指導力を発揮して欲しい。」と地元の資源を生かした先進例を示しました。「専門的な作業チームを編成して研究する必要がある」との私たちの指摘に

市長はうなづきました。

(3) 小売電力の自由化についてはそのときどきの課題や、個別家庭の「実測による電力の使用状況を確認」をしたうえで、「電力会社の推奨する」例についても紹介し、最近の「原発コストの託送料金への上乗せ問題」まで政府の動きを批判的に紹介しました。

(4) 府中の自然エネルギー関連行政を精査しようとする予算の詳細が必要で「予算委員会」を傍聴した経験から府中市にこの「議事録」が作成されていないことに気づき、6月議会に「会」として陳情しました。3回の議論をへて「議会自ら予算措置を講じて実施」の提案が12月に全会一致で可決しました。

(5) 7月2日「さくらの会」という市内の団体が主催した映画「日本と原発 4年後」の上映(けやきホール:200人弱が参加)に宣伝その他で協力し、会員の方の鑑賞に補助しました。この取組は三作目の「日本と再生」の上映運動の展開に繋がるものです。

(6) 現地に覚えのある会員の方の協力で9月21日に山梨県北杜市の太陽光設備の「北杜サイト」と小水力設備を日帰りで見学しました。「普段は議論に参加できなくても見学なら」という方の参加もあり、現場での理解が進み懇親も進みました。

(7) 年末に向かいトランプ次期米大統領の出現で、COP22を中心とする世界の地球温暖化対策の推進に波紋が走りました。折しも府中市ではこの国際条約を起点とする地球温暖化対策推進計画の見直しがあり、急きよ、12月22日に環境政策課と懇談を行い、会員がパブリックコメントを寄せました。府中市はあらたな項目として「スマートエネルギー都市」を追加しています。

(8) このほかに「会」に寄せられた情報や協力依頼などはできるだけ会員にお知らせしてきました。

(9) 以上、多彩な取り組みをしましたが2016年度は会員14(前年11)名、会報会員9(前年11)名で構成されました。運営や勉強する内容は、会議に参加された方の提案や希望にそって進めました。自然エネルギーは範囲が広く、参加者はいろいろな側面から参加されており、多様な意見がありました。例会は今までの「毎月第三土曜日の午後」を10月から「毎月第一土曜日の午後」に変更しました。平均4-9名の参加でした。会報は参加できなかった方を含め、配達としメールで届けています。会場費等が現在のところ無料で、印刷・配達代の節減に努めていますので財政上の問題はありません。2015年に行った上映会での臨時の留保金も残しており、今後有効に使いたいものです。

(二) これからの一年

① 勉強する内容は、従来どおり、タイムリーな話題を参加者の希望の多い順に選んでゆきます。また会合で各参加者が随時、「これは是非、紹介したい」「このテーマで話し合っていて欲しい」というテーマを持ち寄って討論を充実させるようにしたいので、是非、心がけてください。また議論された内容は「会報」にまとまった形で残し、会員や興味のある方に伝えるようにしたいと思います。

② 今までの取組み経過との関係で、今年、重視すべきことは

(1) 「府中市のスマートエネルギー都市構想」を具体的にどうするのか？

(2) 河合監督第三弾「日本と再生」(3/11以降、上映可能)を農工大で若者中心に行う。

(3) 「自然エネルギー等の現場見学」を更に計画する

などです。

③ 会員としての継続のお願いなど

会員が多くなればそれだけ活発に議論ができ、また財政的にもいろいろな活動ができるようになります。会員として継続していただくとともに、知り合いの方に参加を呼びかけてください。

④ 役員体制は、去年の体制を継続したいと思います。また希望があればあらたな役員体制で補強したいと思います。

以上